

熊本県立大学 環境共生学部 環境資源学科

平成 31 年度 転入学・編入学 学生募集要項

〔重要〕 環境共生学部の学科改組について P. 6 に掲載しています。

〔参考〕 アドミッション・ポリシーを P. 6 に掲載しています。

1 募集人員

若干名

2 出願資格

(1) 転入学

現に他大学（短期大学を除く）に在学中の者で、平成 31 年 3 月に当該大学を退学する予定の者。ただし、2 年次修了者（※1）に限るものとし、原則として出身学科が同一系統の者とする。

〔※1〕 2 年次修了者とは、平成 31 年 3 月末において大学に 2 年以上在学して、相当単位を修得した者という。

(2) 編入学

次のいずれかに該当する者。ただし、③～⑧に該当する場合は、原則として出身学科が同一系統の者とする。

① 大学を卒業した者及び平成 31 年 3 月までに卒業見込みの者

② 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者

③ 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成 31 年 3 月までに卒業見込みの者

④ 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）

⑤ 外国において、学校教育法における 14 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者

⑥ 外国の短期大学を卒業した者又は外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）

⑦ 大学を退学した者（平成 31 年 3 月までに退学予定の者も含む）で、かつ、2 年次修了者（※2）に該当する者

⑧ 高等学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成 31 年度 3 月までに修了見込みの者。

〔※2〕 2 年次修了者とは、大学に 2 年以上在学して、相当単位を修得した者という。

3 入学年次

上記「2 出願資格」各号における入学年次は次のとおりです。

・ (2) - ①、② : 3 年次

・ (2) - ③～⑧及び(1) : 出身学科が同一系統の場合 3 年次

: 出身学科が異なる系統の場合 2 年次

なお、既修得単位の状況によって、上記の各入学年次を変更することがあります。

4 出願期間

平成30年11月1日（木）～ 11月7日（水）17時まで（必着）

5 出願方法

次の6の出願書類を一括して持参または郵送により出願してください。

- (1) 郵送する場合は、次の期日までに必着するよう『速達・書留郵便』で発送してください。
平成30年11月7日（水）17時（必着）
- (2) 持参する場合の受付時間は、9時から17時まで（12時20分から13時20分の間を除く）とし、土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。

6 出願書類

① 転入学・編入学願書	所定の用紙
② 履歴書	所定の用紙
③ 学業成績証明書	出身学校等が発行したもの（厳封）
④-1 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	出身学校等が発行したもの（厳封） （「2 出願資格」(2)-①及び③～⑥、⑧により出願する場合）
④-2 学位授与証明書又は専攻科修了見込証明書及び学位授与申請証明書	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの（「2 出願資格」(2)-②により出願する場合）
④-3 退学証明書	在籍していた学校等が発行したもの （「2 出願資格」(2)-⑦により出願する場合で、退学した者の場合）
④-4 在学証明書	在籍する学校等が発行したもの（在学学年が明記されたもの） （「2 出願資格」(2)-⑦により出願する場合で、退学予定の者の場合）
⑤ 写真（1枚）	縦3.5cm×横3cm、正面上半身、無帽、3ヶ月以内に撮影したもの。裏面に氏名を記入
⑥ 入学者選抜手数料	17,000円 （郵送の場合は郵便為替とし、指定受取人及び委任欄は記入しない）
⑦ 受験票返信用封筒	定型封筒（長型3号）に362円分の切手（速達料金含む）を貼り、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

- (注) 1 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入もれ」、「誤記」などが無いよう十分確認してください。
- 2 いったん受理した出願書類等及び入学者選抜手数料は、理由のいかんを問わずいっさい返還しません。
- ただし、入学者選抜手数料については、納入後、入学願書を提出しなかった場合に

限り返還しますので、本学総務課財務班（TEL 096-321-6606）にご連絡ください。
なお、返還額は、本学からの振込手数料を差し引いた額とします。

7 受験及び修学に際して配慮を希望する場合

身体上の機能の障がい等により、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する者は、次の期日までに本学教務入試課入試班に相談のうえ、指定する書類を提出してください。

平成30年11月1日（木）

8 選抜方法等

(1) 選抜方法

小論文、数学・理科、面接及び書類審査（単位認定審査を含む）の結果を総合して行います。

(2) 期日

平成30年12月2日（日）

※ 集合時間・集合場所については、受験票発送の際に指示します。

(3) 試験場

熊本県立大学（住所：熊本市東区月出3丁目1-100）

※ 試験室については、当日学内に掲示します。

(4) 科目・配点

① 小論文 [60分/100点]

② 数学・理科 [90分/200点]

③ 面接（口頭試問含む） [15分/100点]

(5) 科目別内容

① 小論文

環境問題に関する内容

② 数学・理科

「数学、物理、化学、生物」の中から2科目を出願時に選択し、転入学・編入学願書に記入し、試験当日、選択した科目を解答してください。

なお、選択した科目以外の問題を解答しても採点対象とはなりません。

また、出願後の選択科目の変更は認めません。

③ 面接

口頭試問を含め、面接を行います。

(6) 採点・評価基準

① 小論文

考察力、論理的思考力、表現力、記述力をみます。

② 数学・理科

大学における一般教養レベルの数学と理科の基礎学力をみます。

③ 面接

意欲、表現力、理解力、環境問題に対する理解をみます。

9 合格発表

(1) 日時

平成30年12月10日(月)13時30分

(2) 方法

本学本部棟前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。
なお、電話による問い合わせには応じません。

また、合格者の受験番号については、本学本部棟前に掲示した後、参考までに本学のホームページに掲載します。

本学のホームページ <http://www.pu-kumamoto.ac.jp/>

10 入学手続

入学手続に必要な書類は「合格通知書」に同封します。

(1) 手続期間

平成30年12月17日(月)～12月21日(金) 17時まで(厳守)

(2) 提出書類

宣誓書、保証書等

(3) 書類の提出方法

郵送または持参

(注) 郵送する場合は、手続期間中に必着するよう書留郵便で発送してください。

持参する場合の取扱時間は、9時から17時まで(12時20分から13時20分を除く)とします。

(4) 書類の提出先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1-100
熊本県立大学 教務入試課 入試班
TEL 096-321-6610

(5) 入学金(平成30年度現行)

県内生	207,000円
県外生	414,000円

※① 県内生とは、入学者が一にする生計の主たる維持者が、次の日の6ヶ月前から引き続き熊本県内に住所を有するものをいいます。

平成30年12月21日(金)

② 県内生については、主たる生計維持者及びその世帯全員の住民票が必要です。

③ いったん納入された入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、理由のいかんを問わず返還いたしません。

(6) 入学手続後の入学辞退について

入学手続後、やむを得ず入学を辞退する場合は、必ず平成31年3月8日(金)までに教務入試課入試班に連絡をしてください。

(7) 注意事項

入学許可後であっても、受験中又は出願手続等に不正があった場合は、入学の許可を取り消し

ます。

11 授業料（平成31年度予定）

年額：535,800円（267,900円×2期）

※ 在学中に授業料及び納期の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

12 熊本県立大学の入学試験・入学手続における個人情報の取り扱いについて

入学出願書類や入学手続に関して、本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、熊本県個人情報保護条例に基づき、適正な管理を行っています。

これらの個人情報は、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

なお、受験者本人から入学試験成績等の開示請求があったときは、熊本県個人情報保護条例等に基づき開示することになります。

13 問い合わせ先

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1-100

熊本県立大学 教務入試課 入試班

TEL 096-321-6610

対応時間：平日9時から17時まで（12時20分から13時20分の間を除く）

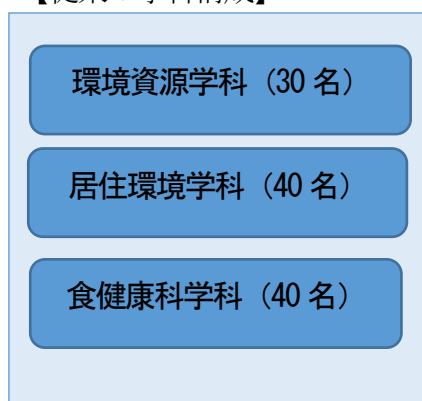
※土曜、日曜、祝日、年末年始の休日（平成30年12月29日～平成31年1月3日）は対応できません。

環境共生学部の学科改組について

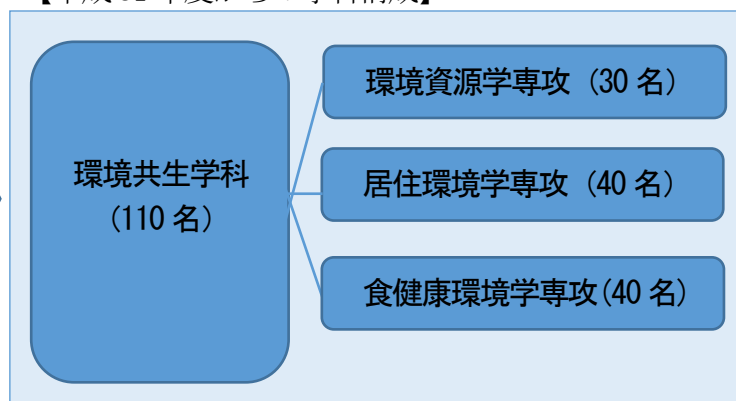
1. 学科改組の概要

環境共生学部では、平成31年4月から現行の3学科を1学科3専攻に改組し、高度な専門性を持つとともに、特定の専門分野にとらわれずに柔軟性と高い意欲を備えた人材を育成することとしています。

【従来の学科構成】



【平成31年度からの学科構成】



(注) 文部科学省へ届出を行い、設置の要件を満たしていると判断された後で確定となります。改組に関する情報は、本学ウェブサイト等で随時公表しますので、定期的に確認してください。

2. 平成31年度入学者選抜 (平成31年4月入学)

平成31年度入学者選抜の募集人員、大学入試センター試験の指定教科・科目、個別学力検査の出題教科・科目及び配点などの選抜方法は、改組前の3学科での選抜方法で実施します。改組が確定した場合、合格者は対応する学科・専攻に所属することになります。

改組前 (選抜時)		改組後 (入学時の所属)
環境資源学科	→	環境共生学科 環境資源学専攻
居住環境学科	→	環境共生学科 居住環境学専攻
食健康科学科	→	環境共生学科 食健康環境学専攻

熊本県立大学 入学者受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

全学

1 熊本県立大学が求める学生

熊本県立大学は、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに、豊かな教養を備え、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる、有為で創造性豊かな人材の育成に全力を注いでいます。

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を

現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結びつけた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。

2 入学者選抜の実施方法

熊本県立大学は、1に掲げる本学が求める学生を適正に選抜するため、学部・学科の特性に応じて、各種の選抜方法を実施します。

環境共生学部

1 環境共生学部が求める学生

本学部は、私たちと自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境資源学科、居住環境学科、食健康科学科の3学科で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めます。

- (1) 環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
- (2) 科学的、論理的思考能力を有している学生
- (3) 高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
- (4) 理科の科目について十分な学力を有している学生
- (5) 英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学・健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。

2 入学者選抜の実施方法

一般入試を中心に、特別選抜をあわせて実施し、多様な方法で多面的な選抜を行います。一般入試ではセンター試験と個別学力試験により、高等学校における基礎学力、理科、英語の能力を評価します。特別選抜では環境共生にかかわる課題に対する関心と理解を小論文及び面接により評価します。

【環境資源学科】

1 環境資源学科が求める学生

本学科は、地域の生態系メカニズムの解明や、人間活動が生態系に及ぼす影響の解析を通じた自然環境と人間活動との共生のための基礎的理論について教育・研究を行っています。

そのために、環境共生にかかわる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、生態系の仕組みや、人間活動が環境・資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成します。また、各実験・実習・演習科目において得られた結果の処理、分析、レポート作成、結果発表（プレゼン

ンテーション)に関する能力を養成します。

そこで、環境資源学科は以下のような人材を求めています。

- (1) 自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲を持つ人
- (2) さまざまな環境問題に興味がある人
- (3) 環境にかかわる専門家をめざす人

本学科への入学を希望する人は、高等学校における教科を滞りなく履修した上で学修の基礎科目となる理科(生物、物理、化学のうち、少なくとも一科目)と数学については高等学校教育の内容を十分に理解しておくことが重要です。

また、本学科では英語に触れる機会も多く、将来の活躍のためにも重要であり、英語について幅広い素養を備えていることを望みます。

2 入学者選抜の実施方法

一般入試を中心に、特別選抜をあわせて実施し、多様な方法で多面的な選抜を行います。一般入試ではセンター試験と個別学力試験により、高等学校における基礎学力、理科、英語の能力を評価します。特別選抜では環境共生にかかわる課題に対する関心と理解を小論文および面接により評価します。

【居住環境学科】

(略)

【食健康科学科】

(略)